

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・各学年とも、標準スコアが全国より上回っている

(2) 課題

- ・第2学年において、思考、判断、表現の力を高める

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和7年度結果	令和6年度結果	令和5年度結果
第1学年	標準スコアが全国より3.3上回った		
第2学年	標準スコアが全国より1.8上回った	標準スコアが全国より2.6上回った	
第3学年	標準スコアが全国より1.7上回った	標準スコアが全国より2.2上回った	標準スコアが全国より0.1上回った

(2) 分析（観点別）

① 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値より4.8上回っている	目標値より12.9上回っている	

② 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値より2.2上回っている	目標値より1.0下回っている	

③ 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値より2.5上回っている	目標値より2.7上回っている	

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・分数×分数（約分なし）の計算 ・正多角形の中から点対称な図形を選ぶ ・5種類の中から2種類選ぶときの選び方が何通りあるかを求める 	すべての問題において校内正答率が目標値より上回っている。現状を継続する。	

(2) 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・絶対値について理解 ・垂直二等分線を作図してできた中点と頂点を通る線が面積を二等分することの理解 	<ul style="list-style-type: none"> ・与えられた文章題に対して、適切な1元1次方程式の立式 ・与えられた式の関係が反比例であると判断し、式の特徴をもとに判断の理由の説明 ・全体の中での1つの記録の位置を判断するための根拠となる値を選ぶこと 	

(3) 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・1次関数の式から、そのグラフをかきことができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・与えられた条件から、三角形の合同を証明し、結論を導くことができる。 	